

大阪城

2024

4/1

(月)

14439

号

全港西
港西
成合
分會

2647

6647-

4947

暖かくなってきた。梅も咲きはじめた。

4月なのであたりまえといえようだが、自然は確実に変化する。人間はそれに合わせて着る服なども軽い春物に変えていくことになる。

先日(3/28)吉本ダウンタウン松本の性加害の裁判があり、5分ほどで終わったが、19の傍聴席に60人以上が抽選券を求めてならんだという。裁判は今年以上続くだろうし、その間テレビには出ないだろうから芸能のテレビも変化しました。タモリ、たけし、サニマなどの世代も高齢もあり、いずれ姿を消し世代は移っていくのだろう。

この前(旧)医療センター横を通っていたら、一トのオヤジさんが「なにカッコーつけてるんや!! 死んだら灰になるんや!!」と大声で吠えていた。ええええええというなー。むしろぶりに釜ヶ崎感じたなー。と思ったがたしかに人間、灰でできているし、即ち原子でできているという事で、物の学、物理学、化学の真理をついているので迫力があるのだろう。

コロナが一時去っているので、目に見えない微小なものや、ウイルスに対する関心が弱くなっているが、小さな弱いと思われているもの(ウ)研究がボケてきている。隗より始めよ、とは原子や細胞など小さなものを大切にして進めよ、という事でもあっただろう。

新年度、今日からスタート

日雇い労働市場の回復はどうだろうか？

2023度が終わり2024年度の始まりです。

期待された「年度末需要」の求人が全く見られず常連メンバーもけつこう厳しい局面になっているようです。

「どこでも人手不足」が叫ばれているのに「実際の仕事」に届かない状態がすすむ。かつて言われた「雇用のミスマッチ」というレベルではない「就労構造の変化」が起きていて個人も社会も追いつけない事態になっているようです。

スマホやネットの活用求人・就労方法など無縁ではいられない時代のようです。

第55回釜ヶ崎メーデー

メーデーは、この地区で55年の歴史を重ねることとなりました。この間いろんなことがおこり、この街は大きな変化をしてきました。今年もこの意義をつなげていこうと企画しています。

まだまだ釜ヶ崎に集う仲間たち、声を上げ自己主張していくことがまだまだあります。